

学校評価アンケート(7月実施)

学校アンケートご協力いただき、心より感謝申し上げます。皆様からいただいた評価やご意見を真摯に受け止め、職員一同これからの教育活動に生かしてまいります。今後も、お気付きの点がありましたら、学校までお知らせください。

	保護者	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	分からない		児童	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	
1	お子さんは、誰にでも進んで挨拶ができる。	16%	44%	29%	9%	3%		誰にでも進んであいさつをしていますか。	49%	34%	15%	2%	
2	お子さんは、思いやりのある行動がとれている。	22%	60%	13%	1%	4%		仲間や相手の気持ちを考えた思いやりのある言動ができていますか。	54%	40%	6%	1%	
3	お子さんは、初めてのことに挑戦しようとしている。	12%	52%	27%	6%	3%		初めてのことに挑戦しようとしていますか。	51%	36%	12%	1%	
4	周りの人に「ありがとう」という感謝の思いをもてている。	23%	59%	14%	2%	2%		自分の周りの人(家族・地域の方・仲間・先生 等)に、「ありがとう」という感謝の思いをもてていますか。	72%	25%	2%	1%	
5	学校は、「分かる・できる」授業をめざして取り組んでいる。	20%	58%	9%	0%	13%		授業で「分かった」「できた」と感じますか。	49%	41%	8%	2%	
6	学校は、ペアやグループで交流する授業を行っている。	23%	57%	2%	1%	17%		授業中に、ペアやグループでお互いの意見を聞きあっていますか。	53%	34%	13%	0%	
7	お子さんは外国語活動(外国語)の授業に進んで取り組んでいる。	18%	51%	16%	3%	12%		外国語活動(外国語)の授業に進んで取り組んでいますか。	56%	28%	15%	1%	
8	学校は、「かがやき見つけ」などを行い、子どものよいところを認め、励ます指導をしている。	25%	58%	4%	2%	11%		先生や仲間から自分のよいところを認められたり、励まされたりしていますか。	47%	40%	10%	3%	
9	学校は、アンケートや相談活動などを通して、いじめや不登校の未然防止、早期発見に努めている。	14%	57%	5%	4%	20%		先生は、あなたの悩みや思いを親身に聞いてくれますか。	55%	35%	9%	1%	
10	学校は、命の大切さ(熱中症、災害対策、事故・不審者対応等)や、命を守る方法を伝えるなど、安全・安心な学校生活が送れるように取り組んでいる。	31%	58%	4%	2%	5%		自分の命を守るため、災害や非常時にどんな行動をすればいいか、知っていますか。	70%	26%	3%	1%	
11	学校は、学校だより、ホームページ、家庭への連絡等、開かれた学校をめざして取り組んでいる。	29%	61%	3%	2%	5%							
12	学校は、読み聞かせや読書タイム、電子図書等を活用し、読書に親しめるように取り組んでいる。	29%	50%	7%	3%	12%		読書が好きですか。	62%	28%	7%	3%	
13								掃除の時間は、丁寧に自分の分担を行っていますか。	68%	29%	3%	0%	

2「思いやりのある行動」、4「感謝の思い」について、約8割の保護者の方が「あてはまる」と答えています。これは、昨年度も同様に高い評価で、保護者の方の口頃の言動が大きく影響しているのだと思います。また、8「子どものよいところを認め、励ます指導」についても高評価です。今後も、お子さん一人一人のがんばりや成長に目を向け、保護者の方と共に、お子さんを見守り励ましていきたいと思っております。

約9割の方が「学校だより、ホームページ、家庭への連絡等、開かれた学校をめざして取り組んでいる」と答えています。しかし、一方で、5「分かる・できる授業」、6「交流する授業」、7「外国語の授業」、9「相談活動」、12「読書」等の学校での活動は「分からない」と回答される方が1～2割みえます。学校での活動や様子がより一層伝わるよう、努力していきます。

全ての項目において、83%以上が「あてはまる」と答えており、昨年度とほぼ変化はありませんでした。学校生活の中で授業や様々な活動に前向きに取り組んでいるとともに、自己肯定感も高いようです。これも、学校だけでなく、保護者や地域の方の励ましや見届けがあったからこそです。ありがとうございます。

保護者の評価と差があったのは、1「誰にでも挨拶」、3「初めてのことにも挑戦」の項目です。保護者だけでなく、学校も「もっとこうしてほしい」「ここまでできるはず」という期待があるので、どうしても評価が厳しくなるのかもしれませんが、学校でも「いつでも、誰にでも、どこでも」挨拶してほしいと願って今後も指導していきます。また、「失敗しそうでも、やってみる」「何度もやってみる」ことができるように、やろうとする気持ちをまず認めていきたいと思っています。